

【研究の概要】

急性骨髄性白血病 (AML)は、骨髄系前駆細胞に遺伝子異常が生じる結果、造血の場である骨髄で幼若な白血病細胞が増加し、正常造血が障害される造血器腫瘍です。AMLは単一の疾患ではなく、臨床像や予後が個々の症例で異なる複雑な疾患群ともいえます。これまでAMLの予後分類は主に染色体異常によって行われてきましたが、近年、これまで予後中間群とされてきた正常核型のAMLが、いくつかの遺伝子変異の有無により、予後良好なものと不良なものに分類できることが明らかになってきました。その中で、比較的検出率が高く、臨床的な価値が高いものがNPM1遺伝子変異、FLT3-ITD変異です。NPM1遺伝子変異陽性かつFLT3-ITD変異陰性の組み合わせは、それ以外の組み合わせに比べて予後が良いと考えられています。このような背景から、当院でAMLと診断された患者さんのNPM1遺伝子変異とFLT3-ITD変異の有無を調べ、予後を含めた臨床的特徴を比較することで、これらの遺伝子変異とAMLの予後との関連を見いだせる可能性があります。また得られた知見を日常臨床に応用し、新規のAML患者さんを、予測される予後に応じてより適切に治療できるようになる可能性があると考え本研究を計画しました。

なお、NPM1遺伝子、FLT3遺伝子変異のいずれも後天的な変異ですので、親から遺伝したものではありませんし、兄弟や子供に遺伝するものでもありません。

【患者さんをお願いしたいこと】

この研究は、過去の治療内容や検査結果を用いる調査研究ですので、これから患者さんの負担となるような行為はありませんし、この調査の対象となっていることによって、投薬や治療が行われることはありません。研究にあたり、患者さんに直接のご同意は頂かず、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施いたします。研究内容の主旨をご理解頂き、研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【研究内容の開示について】

研究計画書や、研究に関する資料については、他の患者さんの個人情報保護に抵触しない限り閲覧が可能です。

【研究結果の発表と、患者さんの個人情報保護について】

研究の結果は、学会や学術雑誌に公表する予定です。患者さんの氏名、生年月日、住所などの個人を特定できる情報、プライバシーにかかわる情報は一切公開しません。また、研究の途中においても、これらの情報が漏れることのないよう細心の注意を払います。

【研究の拒否について】

上記条件に該当する患者さんの中で、本研究への協力を拒否される場合は、いつでも参加を取りやめることができます。その際、下記の連絡先までご連絡ください。拒否されることで、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

【お問い合わせ等の連絡先】

血液内科 鴨田 吉正

住所：〒632-8552 奈良県天理市三島町200 天理よろづ相談所病院

電話番号 : 0743-63-5611 (代表)